



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ライフコート第8弾	階数	地上 3F
建設地	札幌市手稲区西宮の沢4条3丁目302-6、302-7の内、302-8、302-9、302-10	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、法22条区域	平均居住人員	66人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
竣工年	2018年12月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	仮想敷地: 1,875.56 m ²	評価の実施日	2018年2月15日
建築面積	940 m ²	作成者	
延床面積	2,545 m ²	確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項			
総合 省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。		A 省エネルギー 断熱性能の高い建材の使用、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。高効率照明器具、高効率エアコンを採用している。	
B 省資源等 節水器具を採用し、水資源の保護に努めている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。		C 緑化 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。	
		D 雪処理 雪対策として堆雪スペースを設けている。車椅子用通路にロードヒーティングを行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE_Sapporo2016v1.0
(仮称)ライフコート第8弾

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居-宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能	(病)二重窓形式:T-2以上	3.0	0.40	5.0	0.30		
2	界壁遮音性能	D数予測式より、(共)Dr-40、(病)Dr-50	3.0	0.60	4.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	2.0	0.20		
1.3 吸音								
(共)床+天井に吸音材を採用								
4.0 0.20 1.0 0.20								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温		3.0	0.38	3.0	0.57		
2	外皮性能	(病)外壁・屋根・窓等の断熱性能に配慮している	3.0	0.25	4.0	0.43		
3	ゾーン別制御性		3.0	0.38				
2.2 湿度制御								
1.0 0.20 1.0 0.29								
2.3 空調方式								
1.0 0.30 - -								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率	(共)昼光率加重平均:2.0%以上、(病)昼光率:2.5%以上	4.4	0.30	4.2	0.30		
2	方位別開口			-				
3	昼光利用設備	(共)トップライトの採用	5.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策								
1	昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00		
2	映り込み対策			-				
3.3 照度								
3.0 0.15 3.0 0.15								
3.4 照明制御								
3.0 0.25 3.0 0.25								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気								
1	換気量	(共)(病)基準法の1.4倍以上の換気量を確保	5.0	0.50	5.0	0.33		
2	自然換気性能			-	1.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視			-				
2	喫煙の制御	全館禁煙の確認	5.0	1.00				

Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	2.8
1 機能性				1.6	0.40	3.8	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性		(病)最小有効居室床面積:10.0㎡/床以上		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応				-		-	
3	バリアフリー計画			1.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)				-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				-		-	
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源		2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	使用量上位3種のうち、2種以上にC以上を使用	4.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20		-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20		-	
3	電気設備			3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性					3.4	0.30	2.5	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり					4.6	0.30	2.0	0.50	
1	階高のゆとり		(共)基準階階高:3.9m以上		5.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		(共)0.1≦壁長さ比率<0.3		4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.40			
1	空調配管の更新性				3.0	0.20			
2	給排水管の更新性				3.0	0.20			
3	電気配線の更新性				3.0	0.10			
4	通信配線の更新性				3.0	0.10			
5	設備機器の更新性				3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			緑化		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			緑化		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理			3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	3.4
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ	[BPI] _m =0.68	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			省エネ	トップライトの採用	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化			省エネ	[BEI][BEI] _m = 0.77	3.6	0.50		-	3.6
4 効率的運用					2.5	0.20		-	2.5
集合住宅以外の評価					2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ			3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ			2.0	0.50		-	
集合住宅の評価								-	
4.1	モニタリング	省エネ						-	
4.2	運用管理体制	省エネ						-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護					3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減			省資源		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			省資源		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			省資源		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			省資源	ビニル床シート(床材)	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			省資源		2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			省資源	解体時に分別しやすいボード下地構成+OAフロア	5.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源	ODP=0、GWP=1以下の発泡断熱材を採用	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源		5.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.2
1 地球温暖化への配慮		省資源	ライフサイクルCO2排出率=81%	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮				2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止		省資源		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 熱化 蓄処理		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源		2.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音			3.0	1.00		-	
2	振動			-	-		-	
3	悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制			3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制				-		-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.2)

1 建物概要					
建物名称	(仮称)ライフコート第8弾	BEE	1.1	BEEランク	B+
建物用途	病院				
延床面積	2,545.5 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア20%以下 ★2=スコア20%~40%以下 ★3=スコア40%~60%以下 ★4=スコア60%~80%以下 ★5=スコア80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 23.1 最低点 6.6)		合計		16.3点 /23.1点	
Q1 温熱環境	スコア	0.6 /1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 /4.0
Q1 光・視環境	スコア	0.9 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.6 /2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	7.2 /10.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.0 /4.0
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)		合計		15.8点 /23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.8 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.7 /1.9
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.7 /5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.6 /4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		8.3点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.8 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	3.6 /6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4 /2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		2.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数